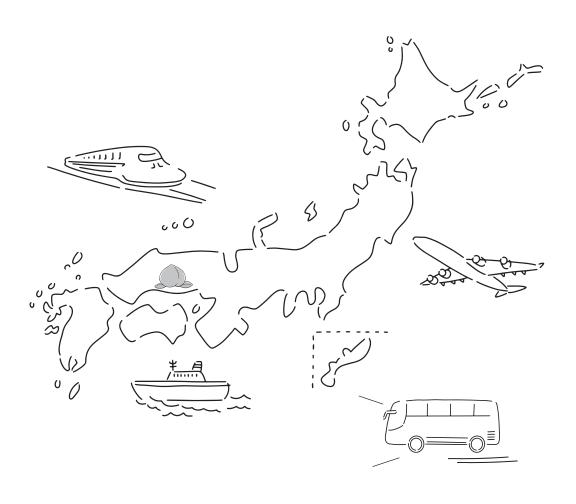
令和4年度 観光振興委員会、文化・スポーツ委員会合同セミナー

岡山県への観光誘客・地域共生の取り組み

令和4年10月11日(火) 16:00~17:50

岡山コンベンションセンター3階 コンベンションホール



令和4年度 観光振興委員会、文化・スポーツ委員会合同セミナー

日時 令和 4年10月11日(火) 16:00~17:50 会場 岡山コンベンションセンター3階 コンベンションホール

次 第

開会挨拶 宮長雅人 (一社) 岡山経済同友会代表幹事

第1部 講演

「岡山県への観光誘客・地域共生の取り組み」

講師 室 博氏 西日本旅客鉄道株式会社地域まちづくり本部 地域共生部企画開発部長

> 1980. 3 法政大学法学部卒業 1980. 4 日本国有鉄道入社 1987. 2 同 西日本旅客鉄道㈱設立準備室 1987. 10 西日本旅客鉄道㈱ 営業本部宣伝課勤務 営業部主幹 2000. 6 同 2003. 6 同 営業本部マネジャー 営業本部 担当部長兼東京営業部長 2007. 7 同 2011. 6 営業本部 次長兼九州営業部長 同

2013. 6 営業本部 副本部長 営業本部 副本部長兼瑞風推進事業部長 2015. 6 執行役員 営業本部長 2016. 6 百 2021. 6 同 総合企画本部 地域共生部 アドバイザー 地域まちづくり本部 地域共生部企画開発部長 2022. 6 同

(現在に至る)

第2部 パネルディスカッション

質疑応答

お礼の言葉 梶谷俊介 (一社) 岡山経済同友会代表幹事

同

司会進行



髙垣 観光振興副委員長



山本 修司 観光振興副委員長

開会挨拶

(一社) 岡山経済同友会 代表幹事 宮長 雅人



本日10月11日より政府の観光振興策が始まった。水際対策緩和と円安により今後インバウンドが増えると予想される。国内では全国旅行支援が始まる。今日を境に以前のような観光振興に取り組む、ジャストタイミングのセミナーである。室様のご講演の後、同友会会員でもある観光のスペシャリストの方々にご登壇いただき、岡山の魅力向上についてお話をお伺いできると期待している。

講演要約

岡山県への観光誘客・地域共生の取り組み

2022年10月11日 観光振興委員会・文化・スポーツ委員会合同セミナー

西日本旅客鉄道株式会社地域まちづくり本部 地域共生部企画開発部長 室 博氏

はじめに

岡山市南区の出身で、勤務地として赴任はなかったが、仕事としては縁があったと考えている。観光誘客の取り組みは、地域の魅力に光を当て、旅行目的を創出し、交流人口を拡大させ、地域活性化を図る。こうした考え方は今では当たり前になっているが、以前はそうではなかった。私自身は旅行会社大手の社外取締役を務めるなど業界同士、力を合わせてきた。加えて、地域との連携を通じた着地整備のために、首都圏から中国地方へのご旅行を増やすべく、地域の皆様と一緒に旅行の商品化、宣伝プロモーションを展開した。中国5県との「DISCOVER

WEST 連携協議会」「DISCOVER WEST」キャンペーンや京阪神三市との「京都・大阪・神戸観光推進協議会」との「三都物語」キャンペーン、北陸3県との「北陸三県誘客促進連携協議会」「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーンなどを実施した。平成15年の新幹線品川駅開業と新幹線直通ののぞみの増発(東京-岡山間31本⇒70本、東京-広島間29本⇒61本)に伴い、地域共生の深耕、観光で地域を活性化し、鉄道も地域と共に成長した。その後、地域への観光誘致が活性化した。本日は特に、岡山にスポットを当て、お話する。

地域と連携した観光誘客の取り組み

旅行目的の創出と観光開発は、地域ごとの事 情もあり、簡単ではない。中国地方への旅行商 品を例に挙げたい。取り組み以前はわずか5社 5 商品(旅行者合計8,000人)だったが、3年 で10万人(17年)を突破し、9社200商品まで 拡大し、コロナ前には40万人まで増加した。そ こで、観光開発の推進スキームについて述べる。 魅力ある旅行目的地の創出と「WIN - WIN | の連携(地元、旅行会社、JR)が一体となっ て取り組みを推進した。全体コーディネート は、協議会や個別連携を行った。特に岡山で は、2次アクセスの向上に取り組んだ。観光開 発の事例を紹介する。「駅から観(かん)タク ン」と呼ばれるタクシーをタクシー業界と行政 に働きかけ、駅から先の2次アクセスとしてタ イアップした(2007年~)。タクシーの閑散時 間帯の利用促進でもあり、駅から2時間で楽し める観光コースをつくった。定額制で運賃が抑





えられており、利用開始時間は9時から15時、 全国に先駆けて岡山でスタートさせた。一部を 除き全国にサービスが広がった。次に、各地の 特産品への展開(熊野筆、豊岡カバン、加賀友 禅など)では、自分だけのオーダーメイドの土 産を作る仕組みを各地で整備した(「お誂え」)。 岡山県では2016年、倉敷市児島のジーンズで も取り組み、旅先で自分だけのジーンズをオー ダーし、1か月後に郵送した。「こだわりの実現」 に価値が置かれ、高価な「オーダージーンズ」 に人気が集まった。当初は、アウトレットに人 気が集まるだろうと予想していた。生地や糸、 裏地まで一つひとつオリジナルをオーダーする ことが、旅行客には魅力なようだ。続いて、せ とうちパレットプロジェクトでは、JR西日本 グループの鉄道事業と創造事業(ホテルや物販) が連携し、地域の皆様と一体となって、新たな 魅力を生み出した。これは、初めての取り組み だった。まずは、実証実験として大阪のクルー ザー「ひまわり」を尾道で運行したところ、関 東で大好評であった。これを受け、観光型高速 クルーザー「SEA SPICA」(シースピカ)では 初めて、船の開発プロジェクトをおこなった。 多島美の景観を味わう、島めぐりの旅を新たな 魅力とするために、地域の船舶事業者と連携し て開発し、「鉄道(陸路)」と「船(海路)」に よる新たな周遊ルートを提案した。広島港~三 原港運航「新たなせとうちの楽しみ方」提案⇒ 立ち寄り観光地(汐待ちの港と御手洗やウサギ で有名な大久野島など)で地域と連携して、地 産品等の販売をするものだ。地域の方には、地 域産品の販売や、手を振っていただくなどのご

協力をいただき、地域の方々と触れ合える、旅 の魅力となりました。京阪神の方々も見学に訪 れるなど話題になっている。兵庫県では来年の ディスティネーション・キャンペーン (DC) に合わせ実験的に、淡路島へのシースピカの運 行をしている。次に、瀬戸内エリアのグランピ ング(新たな体験型旅行)について触れたい。 コロナ禍における新しい観光スタイルへ対応す べく、地域のホテルと共同でグランピング施設 を開業した。岡山の地域にこだわり、カーテン などのインテリアには倉敷帆布やデニム、床に は岡山県北の木材を使用した。地産品を使った こだわりのインテリア、黄ニラなど地域厳選素 材のメニュー (料理研究家大原千鶴氏監修)、 無人島に行ったり、釣りをするなど、この場所 でしかできない活動を楽しむことができる。新 型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家族や少 人数での旅行が選ばれる中、新たに渋川海岸に も当社グループで出資した新しい施設ができ、 好調だという。次に、TWILIGHT EXPRESS 瑞風について触れたい。コンセプトは「美しい 日本をホテルが走る」だ。トワイライトエクス プレスの伝統と誇りを受け継ぐ列車(車窓・食 事・車両+沿線の魅力)だ。特別な旅を提供 する同列車開発のために、南アフリカに視察へ 行くなど、世界中の列車に乗車しました。寝台 でなくベッドの導入を決めた。魅力としては、 岡山和気町付近の原風景や後楽園の絶景延養亭 や能舞台を見学する。大原美術館さまでは原則 非公開の有隣荘の見学でご協力いただいてい る。地域の皆さまと創り上げている列車だ。 瑞風は今年の春、5周年を迎えた。岡山 DC 記 念 TWILIGHT EXPRESS 瑞風 DAY TRIP (京 都〜新見駅運行)も実施した。ところで、最高 級列車の瑞風と同じく地域と共にある列車に、 WEST EXPRESS 銀河がある。特別運行で①7 月8日・9日「笠岡・美星天文台コース」②8 月19日・20日「新見・蒜山スターウォッチン グコース」③9月23日・24日「備中高粱・蒜 山スターウォッチングコース」も実施した。例 えば、備中高粱では、停車時に備中松山踊りの 披露のご協力もいただいた。皆様も是非、「こ

ういう『おもてなし』が良いのでは?」と提案 してください。

前回の DC 開催(2016春)での取り組みでは、 ~岡山後楽園・幻想庭園~例年夏と秋の夜間ラ イトアップを初めて春に実施した。JR 西日本 の担当者が長期間開催を直談判してしまい、岡 山県と岡山県知事の決断で、「33日間」という 長期間での特別開催を実施していただいた。こ うした取り組みで、来場者対前年比43%増に なった。結果的に岡山での宿泊者を増やした。 2022年夏の DC では、大原美術館プレミアム モーニングツアーや蒜山スターウォッチングな ど朝と夜の過ごし方や、フルーツ狩りや、瀬 戸内国際芸術祭関係の企画や mt project など、 「フルーツ」「アート」を切り口とした素材整 備を進めた。こうした魅力発掘の積み重ねで、 宿泊を伴う旅行者の目的地として選ばれ続けて きたことが、このキャンペーンが続いてきた要 因だ。続いて宣伝についてご紹介する。俳優の 中条あやみさんをポスターに起用し、岡山ゆか りの原田マハさんの書きおろし小説をポスター とWEBで紹介する工夫をした。また、7月1 日には新しい観光列車「SAKU美 SAKU楽」 が運行を開始した。岡山県に点在する桜の名所 をイメージし、車体カラーをピンク色とした。 ばら寿司の他に、特製弁当の販売、美作三湯や 桜の名所など豊かな自然が旅心を誘う、岡山県 北美作エリアの魅力を知っていただけたらと思 う。自然が生み出す産物や脈々と息づく文化・ 伝統、おもてなしに触れ、身体も心もあたたか くなる旅を演出した。



地域共生の取り組み

鉄道を基軸に社会インフラを担う企業グルー プとして、当社グループの地域共生のめざす方 向性を述べる。目指す未来は、「人々が出会い、 笑顔が生まれる、安全で豊かな社会 |、ありた い姿は「地域共生企業となる」、「私たちの使命 を果たします」、提供する価値としては、「ス テークホルダーの皆様を『笑顔』に」である。 エリア(地域) CSV「共通(共有) 価値創造」 を掲げ、地域価値の向上と地域課題の解決(社 会的価値)と「当社グループの企業価値・経済 的価値」の両方を向上させていく。こうした点 で、岡山での取り組みは他のエリアに先駆けて 進んでいる。地域の皆さまに愛されながらも、 地域以外では知られていない魅力について、 掘り起こし、磨き上げ、認知度を高めていく ことを2015年から始めている。JR PREMIUM SELECT SETOUCHIというブランドで、岡山 駅構内せとうちキューブや全国のセブンイレブ ンのお店で販売している。例えば「蒜山ショコ ラ|は、流通量は少ないが、店頭に並ぶと瞬く 間に売れてしまう。岡山県の地酒ミニボトル 「OKAYAMA SAKAGURA COLORS」は観光 庁の補助事業に採択いただいて開発した。そ して2022年3月には、オンラインショップの DISCOVER WEST mall (DW モール) を開設 した。地域の「売りたいもの」を「売れる」よ うにしていく地域産品オンラインショップだ。 2023年4月以降は、DW モールでの商品購入 により貯めたポイントを当社グループ内相互に 利用可能(鉄道・ホテルなど⇔ DW モール商 品)になる。DW モールで取り扱っている岡山 の看板商品海産物等(たこ、かまぼこ)、加工 品(キャビアバター、ジャム)、SN 岡山開発 商品 (チューハイ、海苔天) などを TV 大阪 「お とな旅あるき旅 | で連動企画2回にわたり取り 上げていただいた。サイト上でも特集を組み PR を強化した。こればかりではなく、新見市 様との連携協定に基づく取り組みでは、地域限 定のポイント機能を持つ ICOCA を市民に配布 した(2022.10.24~運用開始)。ほかには、JA 晴れの国様や高梁市様とも協定を結び、鉄道荷物輸送を活用した農産品の輸送、JR 岡山駅での販売(毎週木曜日)も行った。限られた地域でしか流通していなかったものが、他地域で消費される取り組みだ。さらに、JR 名古屋高島屋での地産品販売イベント(JR 東海と共催)において、新幹線で運んだ完熟桃や岡山産スイーツを販売(8月3日と6日)では、多くのお客様が行列をつくり、マスコミからも注目された。

この他の地域共生の取り組み(西日本各エリア)としてまず、「おためし地方暮らし」をご紹介する。高島市、南丹市、丹波篠山市と連携し、「都市圏の仕事を持ちながらの地方居住」の可能性を模索している。通勤費・家賃支援、レンタカー特別プランの提供など、サポートをする。岡山県を含むせとうちエリアでは、昨年に引き

続き自治体・大学と連携した瀬戸内カレッジを

実施し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す。2022年度から新たに「地域ものがたるアンバサダー」という取り組みを始めており、富山県、福井県、鳥取県と連携し、21名の方をアンバサダーに任命し、「美食地質学」を軸に地域の固有性を見出し、感動・共感体験を SNS で発信していただいている。

終わりに

JR 西日本グループの観光誘客を更にステップアップさせていきたいと思っていますし、地域共生の取り組みはまだ始まったばかりであることから、今まで通り、今まで以上のご支援をいただきながら、この変化の時代を、一緒に進んでいけたら嬉しいと思っている。

第2部 パネルディスカッション

観光誘客の可能性や 将来について

可会 観光振興委員会副委員長 JTB 岡山支店 高垣 努氏

一 交流人口の拡大を目指し、誘客の観点から、どのような取り組みをされているのか。

前田氏 岡山県への観光誘客・地域共生の取組を3点ご紹介する。①非日常を味わえる「新しい旅」、②フルーツをキーに岡山観光をPR、③JAL 媒体を活用したプロモーションだ。①JAL グループは、星空保護区 井原市美星町を舞台とした旅行商品を、地元の皆様と連携し初めて企画・販売した。題して「星降るレストラン」です。地元食材のフルコースを提供、美星天文台での観測や専門家のレクチャーなど地元の皆さまの温かいおもてなしを感じていただいており、弊社の女性社員にも人気がある。4月

に井原市と共同記者会見、5月に羽田空港発着ツアーをJALパックで実施。8月に観光庁「地域の稼げる看板事業」の採択を受け、11月もツアー催行予定。ウィズコロナやアフターコロナにも最適と考えている。②岡山県や赤磐市・生産者の皆さまと連携し、空輸された岡山県産フルーツ・とうもろこし等を首都圏で岡山県に縁のある客室乗務員で構成する『JALふるさと応援隊』がPR・販売した。7月「岡山フェア」伊勢丹新宿店、8月「岡山県赤磐市マルシェ」羽田空港第1ターミナルなどで、2年連続開催した。③JALが運営するWEBマガジン「On Trip JAL」に掲載(大原美術館、備前焼、美星町)をご紹介している。

松井氏 昨年4月から「ANA あきんど」という会社を立ち上げ、三方よしの精神で地域の魅力の掘り起こしと発信をしている。同社のANA のふるさと納税、TOCHI-DOCHI、一次産業支援事業をご紹介する。ANA のふるさと納税には、岡山の果物のみならず、宿泊に使えるものや農福連携の商品もそろえ、全国の地域を応援している。ふるさと納税を通して観光誘客も図っていきたい。航空券を使い訪れた地域



のゴルフ場のプレイ券など体験型の返礼品にも 人気が出てきている。岡山県内では19の自治 体さまに参加いただいている。TOCHI-DOCHI は、今年からの取り組み。東京都にある成城石 井さまの本店に併設し、アンテナショップの様 な展開だ。リアルとWEBでの地産品PR・販売、 地域魅力発信、誘客促進を行う。この度岡山県 高梁市の商品を販売した。また、一次産業支援 事業では、愛媛県松山市での取り組みだが、ク ラウドファンディングによる廃園課題解決、担 い手不足解消、総合プロデュース、交流創出、 移住促進などを支援し、苗木を植えた。関係人 口の拡大と、果実を機内食の食材や飲料販売に 活用した。岡山県内の菓子メーカーさまからの 引き合いもあった。

大原氏 美術館は自らが所蔵するコレクションテーマ展等で、文化的側面から地域の魅力を発信している。大原美術館も、有隣荘特別展・コレクションテーマ展、現代作家との取り組みを紹介する「ARKO」「AM くらしき」などを行っている。幼児や児童の美術館ツアーの開催は観光客には魅力の一つになっている。修学旅行生を対象に鑑賞支援プログラムも行っており、年間訪れる子ども(約2万人)の半数がプログラムを受けている。今から半世紀以上前から館内で、コンサートや講演会、会議、ウエディング、ヨガを開く等、特徴ある活動を実施してきた実績がある。

室氏 エアラインの皆さまの熱心な取り組みを 伺い感銘を受けた。私たちのしてきた取り組み と共通するものもあり、更に横の連携を強めたらいいと感じたところだ。また、大原美術館さまのお取り組みを改めて伺い、もっと連携し、ご協力できることがあるのではないかと考えました。

―― それぞれの取り組みで連携し、点を面につなげていくことで広がりがあるだろう。ここで、観光誘客・地域共生に関する今後の方向性につきましてお伺いしたい。

前田氏 感染対策を充分実施しつつ、地域のみ なさまと連携して全国から岡山県への誘客の取 組を展開している。上記に加え、日本政府によ る水際対策の緩和を踏まえ、海外インバウンド 観光客を関係者と連携し、岡山県に誘致する取 り組みを展開する。現在 JAL グループでは、 津山市・JR 西日本などと連携し、津山市と台 湾との交流を促進し、今後の誘客を目指す取り 組みを展開中。9月17日には津山まなびの鉄道 館で、津山と同様に扇形機関庫を持つ台湾の彰 化市とオンライン交流し、NHK、OHK、RSK のメディア各社に取り上げていただいた。11 月には津山のオンライントリップを企画してお り、台北のホテルで津山の魅力を紹介する。後 に津山来訪を狙う。国内海外問わず誘客に取り 組みたい。

――海外便の就航状況をお聞かせ願いたい。

前田氏 東南アジアや北米方面は、コロナ前に 戻りつつある、ロシア上空をう回路するため時間が要している欧州もほぼ戻りつつある。一方で、中国本土便はゼロコロナ政策で便が戻せない状況だ。拠点空港は回復してきているため、地方空港はこれからと言ったところだ。

松井氏 航空ならではの取り組みとして、産直空輸に力を入れている。東京に工場直送のものや朝採れの産直品を届ける(東急ストアやイトーヨーカドーなどの量販店)。例えば、富山県産朝ゆでのホタルイカを昼の便で東京に運

び、夕方16時には店頭に並べる。将来には移動を伴わない移動として、自分のアバターが旅をすることに取り組む(avatarin:アバターイン)。これにより、自分がその場に行かなくとも、自由に見学等できることや、一緒に参加できる体験を実現できる。空港業務の効率化にもアバター技術が応用できると考えている。ANANEOでは、メタバースの技術を利用し、自分のアバターが体験し、世界中の人とバーチャル旅行を楽しむ体験を提供する。自分に見立てたキャラクターが買い物をし、その商品を実際に自分も購入することができる。海外の人と共に体験することもでき、その後にVTripをリアルの旅行を実現することも不可能ではない。

大原氏 大原美術館の魅力をお伝えしたが、津山市には蘭学黎明期等を展示する洋楽資料館などもある。優れた医療機関もある。つまり、アート共に岡山に潜在する科学、教育、スポーツなどあらゆる岡山の魅力を発信するなら、無限大の魅力を伝えることができるだろう。岡山フィルハーモニック管弦楽団、ファジアーノ岡山、能楽堂(後楽園・Tenjin9)、ゴルフコース、山や瀬戸内の海など素晴らしい資源がある。もし、岡山県と岡山市が手を組み、地域全体で取り組むなら、素晴らしい発信ができるはずだ。

室氏 芸術や文化は人を惹きつける大きな力がある。芸術や文化で観光が変わる。実際に、瀬戸内国際芸術祭が観光誘客に大きな力となっている。観光誘客の取り組みは、地域の魅力に光を当て、旅行目的を創出し、交流人口を拡大させ、地域活性化を図る。こうしたことで、持続可能な地域をつくっていくことができる。運輸会社としてその責務を果たしていきたい。

【質疑応答】

Q 1 欧州では夜のオプショナルツアーはかなり前から、観光地の魅力となっているが、ナイトミュージアムなど一部で取り組まれているが、岡山での取り組みはこれからという印象だ。

室氏 夜のツアーは重要だと考える。幻想庭園は素晴らしい観光資源である。2016年には水島の夜景を見るツアーが人気だった。倉敷市に泊まり、美星町に星を見に行き、キャラクターデザインのフォトフレームをもらえる実証実験を始める。

大原氏 夜のイベントでは、有隣荘を開館させ、 ワインを楽しむ企画をした。美術館だけでは限 界があるため、地域の人とともに実施していき たい。

前田氏 美星町の取り組みで、美しい星空を活用し観光の魅力を創出している。幻想庭園など既存の魅力を都会の人や海外の人に届ける取り組みが重要なのではなかろうか。

松井氏 海外の観光地の事例をみると、昼間は 別のアクティビティを楽しみ、夕食後、美術館 やショッピングを楽しめる場所がある。こうし た場所があれば、観光客が宿泊したい場所とな るだろう。

Q 2 ネット調査などを見ていると、岡山県は 来訪したい場所として選ばれにくい側面があ る。何が阻害要因になっているのだろうか。 また、何が加われば、魅力を創出できるのか をお教えいただきたい。

室氏 岡山県は、関東からもほど近く、利用実績が確実にある。魅力に感じるかどうかの順位よりは、実績で評価できるのではないか。

前田氏 岡山県は JAL 羽田 - 岡山便は一日 5 往復で、多くのお客様にご利用いただいている。 要はいかにプロモーションをしていくかがカギ となっている。

松井氏 乗客数の把握のみに留まらず、利用目 的やニーズなどのアンケート調査も実施してい る。これを基に、自治体とともに魅力創出を行っ ている。都市部の人には、倉敷の知名度は高いが、他の自治体は知られていないことや、空港からのアクセスがレンタカーなどに限られているのも、ネックになっている面があるだろう。 室氏 コロナ禍で都心へのCMも3年ほど行ってきていない。こうしたものが復活することで変わってくる。

大原氏 県内の各地でアーティストが素晴らし い作品を作成している。こうした魅力をもっと 外にアピールする必要があるだろう。

前田氏 美星町の星の魅力は素晴らしいものが あるが、残念ながら知名度が低い。こうした点 を今後、力を入れていきたい。

松井氏 岡山県には魅力が点在しているため、 絞り切れていないところもある。こうした反省 を踏まえ、PR につとめていきたい。

本日のお話から、人口減少や過疎化なども進む中、観光産業は国内外のお客さまに見て、体験していただく好循環をつくることができることを確信した。

お礼の言葉

(一社) 岡山経済同友会 代表幹事 梶谷 俊介



本日のお話から、観光は地域づくりをどう考えるのかが重要になると改めて感じさせられた。各社の皆さまが行政とともに取り組まれていることに、地元としていかに関われるのかがカギになる。私たちももっと主体的になることもあっていいだろう。加えて、観光客とわれわれがどう関わり、魅力を高めていくかが重要になる。こうしたことこそ、また訪れたい場所となる大きな要因となるだろう。



講師を囲む運営スタッフ

岡山県への観光誘客・地域共生の取り組み

2022年10月11日

西日本旅客鉄道株式会社 地域まちづくり本部 地域共生部 企画開発部長 室 博



1. 地域と連携した観光誘客の取り組み

〜観光誘客キャンペーン〜 地域の魅力に光をあて、旅行目的を創出 ⇒ 交流人口拡大 ⇒ 地域活性化

地域との連携を通じた着地整備

- ・中国5県との「DISCOVER WEST連携協議会」 … 「DISCOVER WEST」キャンペーン
- ·京阪神三市との「京都·大阪·神戸観光推進協議会」 …「三都物語」キャンペーン
- ・北陸3県との「北陸三県誘客促進連携協議会」 …「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン

~ 地域共生の深耕 ~ 観光で地域を活性化し、鉄道も地域と共に成長

2. 観光開発の推進スキーム

魅力ある旅行目的地の創出 ~「WIN-WIN」の連携

⇒ 地元、旅行会社、JRが一体となって取り組みを推進

着地整備 で協力

地域 (自治体・観光事業者) 着地整備・おもてなし

旅行商品 により送客

全体コーディネート ~協議会 or 個別連携~

JR西日本 輸送(席・割引)・宣伝

旅行会社 商品造成·販売

商品化 プロモーション

3. DISCOVER WESTキャンペーン

平成15年10月 新幹線品川駅開業

東海道・山陽新幹線直通「のぞみ」大増発

■ ※ 東京~岡山:31本⇒70本 ※ 東京~広島: 29本⇒61本

東京~岡山 3時間16分

東京~広島 3時間51分







それは、西にある。 DISCOVER

WEST

首都圏から中国地方へのご旅行を増やすべく、 地域の皆様と一緒に着地整備、旅行商品化、 宣伝プロモーションを展開

4. 動画紹介~DISCOVER WEST~



5. 観光開発の事例紹介〜観タクン〜

駅前には、たくさんのタクシーが客待ちの状態

タクシー業界と行政に働きかけ、 駅から先の2次アクセスとしてタイアップ!!



2007年~ 岡山県で開始

- ◆駅から2時間で楽しめる観光コース!
- ◆料金は定額制でお得!
- ◆利用開始時間:9時から15時

→タクシーの閑散時間帯の利用促進

⇒ 北陸、関西、中国エリアの各地で展開 ⇒ J R他社でも設定

6. 観光開発の事例紹介~お誂え~







「児島ジーンズ」での気付き

高価な「オーダージーンズ」が人気=「こだわりの実現」に価値
→ 旅先で、自分だけのジーンズをオーダー、1カ月後に郵送

各地の特産品へ展開(熊野筆、豊岡カバン、加賀友禅など)自分だけのオーダーメイドの土産を作る仕組みを各地で整備

7. せとうちパレットプロジェクト



JR西日本グループの鉄道事業と創造事業が連携し、 地域の皆様と一体となって、新たな魅力を生み出す



8. 観光型高速クルーザー「SEA SPICA」(シースピカ)



「多島美」の景観を味わう、島めぐりの旅 = 新たな魅力 ~ 国、地元企業と連携して共同建造 ~ ⇒ 「鉄道」と「船」による新たな周遊ルートの提案







- ■広島港~三原港運航
- ■「新たなせとうちの楽しみ方」提案 ⇒立ち寄り観光地で地域と連携して、 地産品等の販売





9. せとうちグランピング



コロナ禍における新しい観光スタイルへ対応すべく、 地域のホテルと共同でグランピング施設を開業



SETOUCHI GLAMPING



地産品を使ったこだわりのインテリア、地域厳選素材のメニューなど







10. TWILIGHT EXPRESS瑞風

コンセプト

「美しい日本をホテルが走る~上質さの中に懐かしさを~」

トワイライトエクスプレスの伝統と誇りを受け継ぐ列車 ~ 車窓・食事・車両+沿線の魅力 ~ TWILIGHT EXTRESS

⇒ 特別な旅 を提供する列車











12. TWILIGHT EXPRESS瑞風

岡山デスティネーションキャンペーン記念
TWILIGHT EXPRESS瑞風 DAY TRIP(京都~新見駅運行)





途中駅や沿線で地域の皆様のおもてなし・県北の魅力発信







13. WEST EXPRESS 銀河

岡山デスティネーションキャンペーン記念 WEST EXPRESS銀河 特別運行

- ①7月8日・9日 「笠岡・美星天文台コース」
- ②8月19日・20日 「新見・蒜山スターウォッチングコース」
- ③9月23日・24日「備中高梁・蒜山スターウォッチングコース」







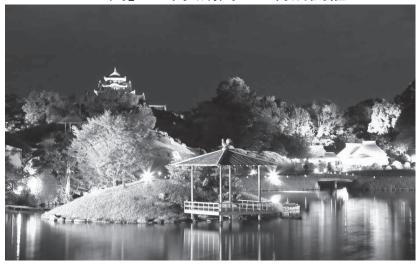
14. 岡山デスティネーションキャンペーン (DC)



前回のDC開催 (2016春) での取り組み

~岡山後楽園 切想庭園~

例年夏と秋の夜間ライトアップを初めて春に実施 「33日間」という長期間での特別開催



15. 岡山デスティネーションキャンペーン(2022夏)

■朝と夜の過ごし方



大原美術館プレミアム モーニングツアー



西川夏あかり& 桃太郎大通り宵ひかり

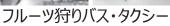


蒜山スターウォッチング

■「フルーツ」「アート」を切り口とした素材整備







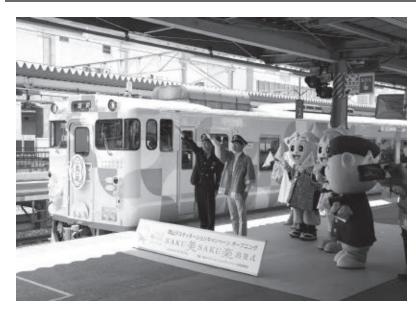


mt project

16. 岡山デスティネーションキャンペーン(2022夏)



17. 岡山デスティネーションキャンペーン(2022夏)





美作三湯や桜の名所など豊かな自然が旅心を誘う、岡山県北美作エリア。 自然が生み出す産物や脈々と息づく文化・伝統、おもてなしに触れ、身体も 心もあたたかく美しきを作る旅へ。

18. 地域共生の取り組み

○当社グループの地域共生のめざす方向性

企業理念・経営ビジョン

めざす未来

人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会

ありたい姿

地域共生企業として、私たちの使命を果たします

挑戦し続ける企業となります

提供する価値

ステークホルダーの皆様を「笑顔」に

エリア(地域)CSV「共通(共有)価値創造」

社会的価値

経済的価値

地域価値の向上/地域課題の解決



「当社グループの企業価値」の向上

19. ふるさとおこしプロジェクト

- ・地域の皆さまに愛されながらも、地域以外では知られていない魅力
- ・地域の皆さまと連携して、掘り起こし、磨き上げ、認知度を高めていく





OKAYAMA SAKAGURA COLORS

JR PREMIUM SELECT SETOUCHI

- ◆掘り起こし (いいもの探し)
- えぇとこ ・・・観光地の景色など
- えぇもん ・・・工芸品など うめぇもん・・・食材・飲料 (地酒など)・ご当地料理など
- ◆評価·認定 (ふるさとあっ晴れ認定委員会)



- ◆本格導入
- ·商品開発
- •販路拡大



20. DISCOVER WEST mall (DWモール)

- ○DWモール (2022.3~) とは
- ・地域の「売りたいもの」を「売れる」ように していく地域産品オンラインショップ
- ・2023.4からは、貯めたポイントを当社 グループ内相互に利用可能 (鉄道・ホテルなど⇔DWモール商品)



○岡山の看板商品

- ・海産物等(たこ、かまぼこ)
- ・加工品(キャビアバター、ジャム)
- ·SN岡山開発商品 (チューハイ、海苔天)







○これまで実施した企画

TV大阪「おとな旅あるき旅」 連動企画

> 2回にわたり、DWモール 取り扱い商品を放送。

サイト上でも特集として PR強化。

21. 岡山エリアにおける地域共生の取り組み

〇新見市との連携協定に基づく取り組み

・地域限定のポイント機能を持つICOCAを市民 に配布(2022.10.24~運用開始)

・(瑞風DAY TRIP) ※前出

・キティはるか団臨(2022.8.6)



〇鉄道荷物輸送を活用した情報発信

J A と連携した農産品の 輸送・販売(毎週木曜日)





・JR名古屋高島屋での地産品販売 イベント(JR東海と共催)において、

新幹線で運んだ完熟桃、 岡山産 スイーツを 販売





22. 地域共生の取り組み(西日本各エリア)

〇おためし地方暮らし

- ・高島市、南丹市、丹波篠山市と連携
- ・「都市圏の仕事を持ちながらの地方居住」の可能性を模索
- ・通勤費・家賃支援、レンタカー特別プランの提供などのサポート



■ ○瀬戸内カレッジ

- ・自治体・大学と連携(産官学のプロジェクト)
- 若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、 学生の成長機会の創出を目指す
- ・現地への交通費支援、プロモーション等のサポート

○地域ものがたるアンバサダー

- ・富山県、福井県、鳥取県と連携し、21名を任命
- ・「美食地質学」を軸に地域の固有性を見出し、 感動・共感体験を発信
- ・現地への交通費支援、プロモーション等のサポート
- ⇒その他、農業の担い手不足などの地域課題の解決を通じて、地域の魅力に触れて もらう「せとうちファンづくりプロジェクト」などの取り組みも実施



┃委員会名 観光振興委員会

委員長 吉本やよい ㈱橘香堂 常務取締役

副委員長 太田 良香 柴坂電機㈱ 常務取締役

副委員長 髙垣 努 ㈱ JTB 岡山支店 支店長

副委員長 豊福 幸雄 侑アウルメディカルサービス 代表取締役

副委員長 西原 二郎 ㈱鵬林 専務取締役

副委員長 藤原 乗将 西日本旅客鉄道㈱岡山支社 理事 岡山支社長

副委員長 前田 正俊 日本航空㈱岡山支店 支店長

副委員長 松井 規代 全日本空輸㈱岡山支店 支店長

副委員長 山本 修司 ㈱岡山コンベンションセンター 代表取締役社長

青木 進 キリンビール㈱東中国支社 支店長

秋田 智紀 衛日本 SS 代表取締役

浅田 英久 司法書士法人永田事務所 顧問

安達 精治 ㈱シャンテ 代表取締役

安東 佳子 内海プラント㈱ 代表取締役

家村 保寛 ANA クラウンプラザホテル岡山 総支配人

伊澤 正信 クラブン㈱ 代表取締役社長

石井 清裕 ネッツトヨタ岡山㈱ 代表取締役社長

井上万都里 ㈱イノウエホールディングス 専務取締役

惠谷 龍二 ㈱ケイコーポレーション 代表取締役

太田 博朗 ㈱リショウ 代表取締役

大原あかね(公財)大原美術館代表理事

大平 真澄 ㈱バイオバンク 代表取締役社長

岡﨑 彬 岡山ガス㈱ 代表取締役会長

岡﨑 世作 双葉電機㈱ 代表取締役社長

小笠原ヒロ子 (制ニッティ・グリッティ 取締役会長

岡田 拓士 ㈱源吉兆庵 代表取締役会長

香川 裕史 セーラー広告㈱岡山本社 執行役員兼岡山本社営業局局長

片岡 雅夫 ㈱トヨタレンタリース岡山 常務取締役

金丸 博之 凸版印刷㈱ 中四国事業部第二営業本部第二部部長

河合 智哉 ㈱智商運輸 代表取締役

國富郷太郎 ㈱メレック 代表取締役社長

久山眞里子 ㈱アシモ 代表取締役

佐藤 正浩 医療法人養命会 佐藤医院 副院長

佐藤 芳郎 佐藤芳郎公認会計士事務所 公認会計士

清水 富江 備前化成㈱ 代表取締役社長

髙畑 宗明 ㈱オーエム・エックス 代表取締役

田代 修 ㈱近畿日本ツーリスト中国四国岡山支店 支店長

田中 信行 さんもく工業㈱ 代表取締役社長

田野口 希 岡山放送㈱ 取締役

千原 行喜 ㈱成通 代表取締役

坪井 祥隆 大惣㈱ 代表取締役

富山 明寿 小倉産業㈱ 代表取締役社長

豊田 東 岡山国際ホテル 総支配人

永井 圭子 ㈱吉井 代表取締役

中静敬一郎 岡山放送㈱ 代表取締役社長

長沼眞智子 衛エルグレコ 代表取締役

中野 旬一 玉島味噌醤油合 専務

中山賢太郎 ㈱中山昇陽堂 代表取締役社長

延原 正浩 丸新運輸㈱ 代表取締役社長

橋本 智幸 みずほ信託銀行㈱岡山支店 支店長

畑島 美緒 金田コーポレーション㈱ 代表取締役社長

羽原 俊秀 ㈱マグリット 代表取締役社長

藤原 秀則 ㈱倉敷アイビースクエア 代表取締役社長

前坂 匡紀 ㈱ビザビ 会長

三上 貴彦 アサヒビール㈱東中国支社 支社長

向井 常明 ユニック中四国販売㈱ 代表取締役

本井 誠 ㈱ホテルグランヴィア岡山 代表取締役社長

安原宗一郎 大紀産業㈱ 代表取締役社長

山口 勝正 ㈱倉敷国際ホテル 代表取締役

若林 昭吾 ㈱三好野本店 代表取締役会長

┃委員会名 文化・スポーツ委員会

大原あかね (公財) 大原美術館 代表理事

副委員長 柴 佳宏 ㈱ナック 代表取締役社長

副委員長 髙次 秀明 (公財) 岡山文化芸術創造 専務理事

副委員長 髙谷 昌宏 ㈱サンヨープレジャー 代表取締役社長

副委員長 千原 行喜 ㈱成通 代表取締役

副委員長 森脇 大輔 ㈱日本政策投資銀行岡山事務所 事務所長

荒木 雷太 ㈱荒木組 代表取締役

安東 佳子 内海プラント(株) 代表取締役

伊澤 正信 クラブン㈱ 代表取締役社長

清 大和リース㈱岡山支店 支店長 板倉

井上 信二 井上公認会計士事務所 所長

江尻 博子 ㈱岡山スポーツ会館 代表取締役社長

大谷 洋司 住友生命保険相岡山支社 支社長

岡﨑 彬 岡山ガス㈱ 代表取締役会長

岡本 哲 岡本法律事務所 弁護士

奥原 寛樹 ㈱ OHK エンタープライズ 代表取締役社長

川西 康友 大和証券㈱岡山支店 支店長

岸本 裕子 ㈱サムシングフォー 代表取締役

木下 唯志 木下サーカス㈱ 代表取締役社長

國里 和徳 DOWA 興産㈱ 取締役

小橋 諭吉 ㈱コンケン 代表取締役社長

髙垣 努 ㈱ JTB 岡山支店 支店長

髙戸 賢一 三要電熱工業㈱ 代表取締役

田代 修 ㈱近畿日本ツーリスト中国四国岡山支店 支店長

田中 意澄 日本放送協会岡山放送局 局長

豊福 幸雄 衛アウルメディカルサービス 代表取締役

中山賢太郎 ㈱中山昇陽堂 代表取締役社長

延原 正浩 丸新運輸㈱ 代表取締役社長

羽場 誠 ㈱岡山リベッツ 代表取締役

原見 修司 RSK 山陽放送㈱ 常務取締役

樋口 克彦 中国精油㈱ 代表取締役社長

福田 友和 エムエスティ保険サービス㈱ 支社長

福武 義修 福武興業㈱ 代表取締役社長

藤木 茂彦 ㈱丸五 代表取締役会長

藤木 達夫 丸五ゴム工業㈱ 代表取締役執行役員

藤原 加奈 ㈱フジワラテクノアート 代表取締役副社長

古市 大蔵 ㈱トミヤコーポレーション 代表取締役会長

前坂 匡紀 ㈱ビザビ 会長

前田 正俊 日本航空㈱岡山支店 支店長

柾本健太郎 丸正製粉㈱ 代表取締役社長

松井 規代 全日本空輸㈱岡山支店 支店長

松原 利直 ㈱ウエスコホールディングス 代表取締役社長

宮脇 靖典 岡山理科大学 教授

虫明 優 ㈱三楽 代表取締役社長

安原宗一郎 大紀産業㈱ 代表取締役社長

渡邉 育正 日進ゴム㈱ 代表取締役

近藤 知之 ㈱トンボ 代表取締役会長 オブザーバー 岡崎喜一郎 ㈱中国銀行 秘書室次長

嶌田 章信 ㈱シマダオール 代表取締役社長 オブザーバー 片山 貴志 岡山トヨタ自動車㈱ 管理部マネージャー

清水 孝一 医療法人清水内科医院 副院長 事務局 久山 裕士 (一社) 岡山経済同友会 専務理事・事務局長

令和5年5月発行 発行者 一般社団法人 岡山経済同友会